

科目名	社会思想史	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	向山 恭一		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-21-A-1-110007		国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること		
授業の目的	本授業では西洋近代の19世紀に完成され、20世紀から現在にいたるまで主要な社会思想として存在する自由主義の歴史をひもとき、自由に生きるとはどういうことか、ひとが他者とともに暮らさざるをえない社会的存在だとすれば、どこまで自由にいきることができるのかという倫理的な問題から、個人の自由を守る体制とはいかなるものか、個人の自由が制限されるとすれば、それはどのような条件のもとにおいてかという政治経済的な問題まで網羅的に考察する。本授業の目的は、そうした問題を明らかにすることをつうじて、ディプロマポリシーに掲げられた「健全な社会生活を営むための社会常識」（情報文化学部）、「グローバルな課題に批判的な問題意識と建設的な眼差しをもって向き合う実践的な態度」（国際学部）を育成することである。				
学修到達目標	日々の生活のなかで自由であることの意味を倫理的な観点から反省することができる。 私たちをとりまく社会情勢について政治経済の観点から理解することができる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	ガイダンス：私たちは自由をどう理解しているのか—道徳的自由と経済的自由のはざままで—
第2回	自由主義思想の起源と展開：19世紀から現代までの見取り図
第3回	自由主義思想の基本問題（1）：自由の限界はどこにあるのか

第4回	自由主義思想の基本問題（2）：正しい社会とはなにか
第5回	自由主義と民主主義：政治権力をどう抑制するのか
第6回	第5回までのまとめと補論
第7回	古典的自由主義の展開（1）自然権思想と功利主義
第8回	古典的自由主義の展開（2）市場経済と自由放任の思想
第9回	現代自由主義の展開（1）消極的自由から積極的自由へ
第10回	現代自由主義の展開（2）：自由放任から政府の市場介入へ
第11回	第10回までのまとめと補論
第12回	21世紀の自由主義（1）：新自由主義の台頭
第13回	21世紀の自由主義（2）：新保守主義への変容

第14回	21世紀の自由主義（3）：共同体主義からの挑戦
第15回	総まとめ
第16回	試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。配付資料を通じての予習
【復習】時間・内容	2時間。配付資料の見直しと不明点を調べ理解する。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験の点数(70%)、授業内レポート(30%)を合わせて総合的に評価する。
フィードバック方法	希望者には試験後に模範解答、講評を発表する予定。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	授業のなかで適宜紹介する。
受講上の留意点等	とくになし。
JABEE	